

動画公開中

# 古墳時代の 地域間交流

古代歴史文化協議会ミニ講演会



鳥取県普段寺1号墳出土 三角縁神獣鏡  
(大安寺蔵 鳥取県立博物館提供)



兵庫県愛宕山古墳墳丘測量図 (大阪公立大学岸本研究室提供)



島根県塩津山1号墳出土 円筒土器  
(島根県古代文化センター提供)



講師 福永 伸哉 氏

1959年 広島県生まれ。大阪大学文学部史学科・国史研究室で考古学専攻ののち、大阪大学埋蔵文化財調査室助手、大阪大学文学部助教授、大阪大学大学院人文学研究科教授を歴任。現在、大阪大学名誉教授。我が国における古墳時代研究の第一人者。「邪馬台国から大和政権へ」(2001年)、「三角縁神獣鏡の研究」(2005年、いずれも大阪大学出版会)等著書・論文多数。

オンライン  
視聴講演会

無料配信



▲動画の視聴は  
こちらから

<http://kodairekibunkyo.jp/> または

古代歴史文化協議会

## 構成県 一覧

# 古代歴史文化協議会とは

古代歴史文化の研究・活用に  
関心のある7県で構成し、  
連携して共同調査研究・情報発信を  
おこなっています。



## 第4期共同調査研究テーマ「古墳時代の地域間交流」のねらい

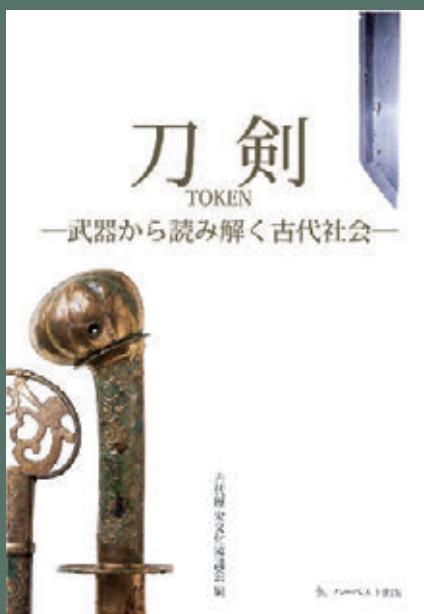
古代歴史文化協議会では、共通性をもちながらも各地で特徴を示す複雑な様相を呈する古墳時代について、個別地域の枠を超えて、様々な要素から広い視野で研究を進めてまいりました。これまで刀剣類、玉類などの副葬品、前方後円墳などの墳墓を対象とした共同研究をとおして各地の様相や王権と地域の関係について検討をおこない、その成果として講演会・シンポジウムの開催や書籍の刊行を行っています。

第4期共同研究では、特定の出土品や遺構に限定せず、「地域間交流」をテーマとして設定しました。地域間交流には様々なタイプが存在しており、多様な様相を示すことが知られています。各地の地域間の交流を示す資料の比較検討を行い、王権や列島内外各地域との交流の様相について明らかにすることを目的に共同研究を進めています。

## 古代歴史文化協議会の書籍・ホームページ



『玉—古代を彩る至宝—』  
第1期の研究成果をまとめた一般向け書籍  
ハーベスト出版 定価1,980円（税込）



『刀剣—武器から読み解く古代社会—』  
第2期の研究成果をまとめた一般向け書籍  
ハーベスト出版 定価1,980円（税込）



協議会ホームページ  
構成県の玉・刀剣類出土遺跡データベースや  
過去の講演会記録、動画などを掲載しています